

2018 AUTOBACS SUPER GT Round 1 OKAYAMA GT 300km RACE

2018年4月7日(土)~4月8日(日)

予選 レポート



場所:岡山国際サーキット (岡山県) 1周 3.703 km

天候:曇り→雨 / コース:ドライ→ウエット / 気温:8℃ / 路温:13℃ / 観客動員数:10,700人

10番グリッド

2018年 SUPER GT シリーズは、ここ岡山国際サーキットで第1戦を迎えた。昨シーズンよりさらに進化した SUBARU BRZ が投入され、チームはこの素晴らしいマシンのポテンシャルを最大限引き出すべく、井口卓人と山内英輝の2人で1年間を戦う。午前中の雨はやみ、完全なドライコンディションで公式予選 Q1が始まった。

4月7日(土)

<公式予選 Q1/ 14:45~15:00>

ノックダウン方式での予選がスタート。15分間のセッション(Q1)の上位14位までが次のQ2予選に進める。今シーズン最初のアタックは山内が受け持つ。山内はゆっくりとタイヤを温め、1分25秒674までタイムを上げ、4番手で予選を通過する。



www.rdsport.net

<公式予選 Q2/ 15:30~15:40>

Q2開始10分前から強い雨が降り出し、路面は完全なウェット状態となってしまった。Q2は井口が担当する。井口は悪コンディションの中アタックを開始するが、タイヤを温める事が出来ず、最終ラップに1分35秒995のタイムを出し10位で予選を終える。なお、GT500クラスのポールポジションは#17 KEIHIN NSX-GTが、GT300クラスは#88 マネパ ランボルギーニ GT3が獲得した。



■本島監督 コメント



両選手ともに頑張ってくれました。いかなるコンディションでも10分間の予選の間にタイヤを温められるセットアップにマシンが出来ていなかった事が悔やまれます。初戦とあって他車の実力がまだまだつかみきれいていませんが、出来るだけの対応を施し決勝に臨みたいと思います。

予選の詳細に関しては SUPER GTホームページ <https://supergt.net/> 、
またSUBARUモータースポーツマガジン <https://www.subaru-msm.com/2018/sgt/report/> もご覧ください

2018年4月7日
SUBARU BRZ
アールアンドデースポーツ
<http://www.rdsport.net/>



www.rdsport.net